

第 2 回 白山ジオトレイル

実施報告書

2015 年 10 月 15 日

白山ジオトレイル実行委員会

1. 白山ジオトレイルとは

白山ジオトレイルは、衣食住に関わるものを背負い、7日間250キロで林道や登山道を踏破する食料自給のステージ制レース。

実行委員長である赤坂の「本大会に挑戦した人が周りに元気や勇気を与える人になるような大会をしたい。白山を世界に発信したい」という思いに、地域の人々が賛同し、企画・運営。参加者に白山麓の自然の美しさや歴史、文化を知って頂くとともに、アットホームな大会運営を目標とする。

2013年9月14～16日にプレ大会（3日間100キロ）、昨年は第1回白山ジオトレイルとして7日間250キロと3日間100キロを開催。今年は第2回開催

2. 開催概要

■日時：平成27年8月22日（土）～28日（金）、

21日（金） 受付・前夜パーティー

■場所：石川県白山市白山麓（旧1町5村）

■主催：白山ジオトレイル実行委員会

■後援：白山市、白山市教育委員会、白山手取川ジオパーク推進協議会、北國新聞社、白山市経済団体連絡協議会（白山商工会議所、美川商工会、鶴来商工会、白山商工会）、白山比咩神社、林西寺、白山市観光連盟、白山観光協会

■協力：(株)ホワイトリング、スカイ&パーク獅子吼、白山石川医療企業団、光仁会木島病院、スナンスナン・スパ、石川県立鶴来高等学校、石川県立翠星高等学校、白山市白嶺小中学校、かんこ踊保存会、(株)イノクチモータース、(株)コー・ランナーズ、NPO法人かながわフォレストレンジャーズ、WILD-1厚木店、河野太基、NPO法人びいすく美川、健康はだしクリニック事務局つながる企画、(有)エクストレモ、金沢市南倫理法人会

■協賛：Honda Cars 北陸 / Honda Cars 福井南、岩田製箸所、KATAYAMA PLANNING(株)、アメアスポーツジャパン(株) サロモンアウトドア、シダスジャパン(株)、(株)小堀酒造店、(株)ドリーム

ガレージ、(有)クルマスポーツ、スポーツグラスプロショップ金栄堂、PowerBar、GPSショップIDA-ONLINE、(株)モンベル、写真家 木村芳文、ASKメモリアル/ASK金澤(株)、大塚製薬(株)、世界で2番めに美味しい焼きたてメロンパンアイス、一里野高原ホテルろあん、岩間山荘、ホテル八鵬、(株)山本産業、白山白川郷トレイルクラブ

■コース：

石川県白山市白山麓（資料1）

■大会当日の出走者、完走者

7日間コース

- ・出走者26人（石川県2名（金沢、小松）。女性3名。最年少28歳。最年長65歳。遠方：福岡、福島）
- ・完走数23人（完走率88%）、リタイア3名（2日目ゴール後1名、3日目ゴール後：2名）

3日間コース

- ・出走者14人（石川県2名（金沢、川北）。女性5名。最年少30歳。最年長62歳。）
- ・完走数14人（完走率100%）

■救護関係の状況

- (1) 救護所設置数1～2カ所（1ステージあたり）
AED 配備数2台（使用件数0件）
- (2) 救護者：医師1名、看護師1～2名
- (3) 救護所利用内容：足裏水泡、擦り傷、脱水症状、低体温症状（医療機関への救急搬送0件）

■上位入賞者（3位までの氏名・現住所・記録）

7日間コース

- ① 高坂昌信（神奈川県）30時間56分39秒
- ② 林 宏行（新潟県）32時間57分44秒
- ③ 加瀬澤史人（京都府）34時間52分11秒

3日間コース

- ① 志賀裕樹（千葉県）18時間20分09秒
- ② 北村信一（石川県）19時間9分35秒
- ③ 富永美和（兵庫県）20時間26分54秒

■ボランティアスタッフ（大会期間8/21～8/29）

前日：16名（白山市5名）、1日目：40名（同13名）、2日目：36名（同12名）、3日目：29名（同7名）、

4日目：26名(同4名)、5日目：30名(同5名)、
6日目：38名(同12名)、7日目：27名(同7名)、
後日(片付け)：10名(同2名) 計 242名

■取材メディア

NHK ラジオ(5/7)、MRO 北陸放送(8/7)、朝日新聞(8/20)、北國新聞(8/22,25)、北陸中日新聞(8/23,8/28) (資料2)

■白山国立公園規定の策定

環境省からご指導頂き、白山国立公園内の登山道はタイム計測なし・歩行区間とした(資料3)。

■自然保護団体への対応

「白山の自然を考える会 理事長:石野洋」は環境省と白山市へ白山国立公園利用に対する反対の要望書を提出したが、白山ジオトレイルの白山国立公園内の規定について各機関よりお伝え頂いた。

3. 大会概要

■受付・前夜パーティー：8月21日(金) 晴

9時：白山比咩神社 祈祷
10時：配布物準備@クルマスポーツ
13時：受付準備@パーク獅子吼ふれあい館
Handa Cars北陸様車両搬送
15時：参加者受付
16時30分：競技説明・レセプション(同)
牛王印押印及び守札授与式
(市役所より聴覚障害サポート者2名派遣)
18時30分：終了



前夜パーティー(パーク獅子吼)



全選手に押印した白山牛王宝印(前夜祭にて説明)

■ステージ1：8月22日(土) 雨のち晴

6時30分：参加者集合。荷物回収
7時：白山比咩神社安全祈願
7時15分：開会式@白山比咩神社北参道駐車場
山田白山市長よりご挨拶
8時：スタート@白山比咩神社北参道駐車場
12時52分：トップ選手ゴール
17時07分：最終選手ゴール
(制限時間：21時)
キャンプ地：バードハミング鳥越



スタート前の安全祈願(白山比咩神社)



白山比咩神社村山宮司が旗振り(白山比咩神社)



登山道を進む参加者



スタート前（バードハミング鳥越）



キャンプ地で休息



白山手取川ジオパークのジオサイト（鳥越城）

■ ステージ2：8月23日（日） 晴

6時30分：コース説明

7時：スタート@バードハミング鳥越

12時29分：トップ選手ゴール

16時16分：最終選手ゴール

（制限時間：21時）

キャンプ地：白嶺小中学校



ゴールをスタッフでお出迎え



コース説明（バードハミング鳥越）



マッサージ（提供：スナンスナン・スパ）

■ ステージ3：8月24日（月） 曇

6時30分：コース説明

7時：スタート@白嶺小中学校

11時46分：トップ選手ゴール@中宮

15時31分：最終選手ゴール

(制限時間：15時)

15時：3日間表彰パーティー

場所：白山市吉野谷セミナーハウス

- ・ 加賀禅定太鼓演舞
- ・ 一里野観光協会による報恩講汁や地元料理の食事及び表彰式

17時：解散

19時：コース説明

キャンプ地：吉野谷セミナーハウス



宿泊（吉野谷セミナーハウス）



夫婦で選手とスタッフで参加



スタート前



3日間100キロ表彰パーティー



ゴールを目指す参加者



表彰パーティー（吉野谷セミナーハウス）

■ ステージ4：8月25日（火） 曇（暴風）

5時：スタート@吉野谷セミナーハウス

7時06分：トップ選手@しかり場分岐

11時02分：最終選手（同）

13時：トップ選手@室堂

18時：最終選手（同）

（制限時間：なし）

天候急変ため大汝峰を登らずに室堂まで。日没で移動困難ためビバーク1名（スタッフ3名）

宿泊地：白山室堂白山荘



スタート前（吉野谷セミナーハウス）



チェックポイント



登山道を進む参加者（白山）



歩行区間を登山（四塚山付近）

■ ステージ5：8月26日（水） 晴

9時45分：室堂発（砂防新道で別当出合まで。

タイム計測なし・歩行区間、別当出合から順次スタート）

1時間36分：トップ選手ゴール@白峰林西寺

3時間34分：最終選手ゴール@同

19時30分：かんこ踊り（白峰芸能）及び

下山仏説明（林西寺加藤住職）

（制限時間：19時）

キャンプ地：白峰健康増進センター

20時：翌日のコース説明



下山する参加者1（白山）



下山する参加者2（白山）



下山する参加者3（白山）



ゴールを喜ぶ参加者



白峰の伝統芸能かんこ踊り（林西寺）



住職による白山下山仏の説明（林西寺）



キャンプ地（白峰健康増進センター）

■ ステージ6：8月27日（木） 晴

7時：スタート@白峰林西寺

8時：スタート（上位8位）@同

16時29分：トップ選手ゴール

22時51分：最終選手ゴール

（制限時間：24時）

キャンプ地：バードハミング鳥越



上位9名以降スタート前（林西寺）



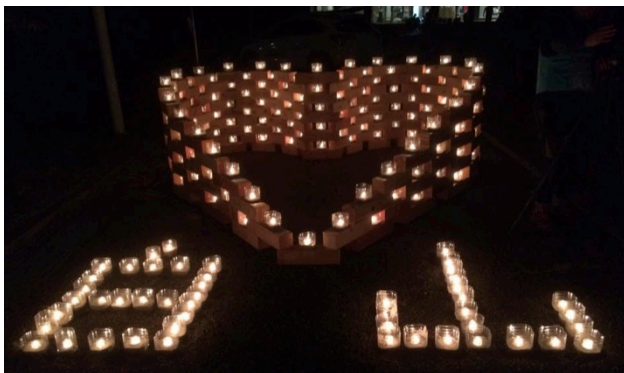
上位8名スタート（林西寺）



共に進む参加者たち



地図を読みながら進む参加者



キャンドルのお出迎え（バードハミング鳥越）



最終選手のゴールをみんなで迎え



キャンプ地（鳥越大日スポーツ施設）

■ ステージ7：8月28日（金） 晴

8時30分：コース説明

9時：スタート@バードハミング鳥越

12時22分：トップ選手ゴール

15時23分：最終選手ゴール

（制限時間：15時半）

ゴール地：白山市役所鶴来支所

15時40分：温泉ツアーバス（白山里）

17時：表彰パーティー（レッツホール）

・ 地元料理及び表彰式

19時：解散



朝のラジオ体操



地元の方の私設エイドステーション



大会車両（提供：Honda Cars 北陸）



スタッフ集合写真



トップ選手ゴール（白山市役所鶴来支所）



ゴールを喜ぶ参加者（白山市役所鶴来支所）



表彰パーティーにて集合写真（レッツホール）

4. 大会後

- ・使用したルートの清掃活動を実施
- ・白山市長へ大会報告実施
- ・白山国立公園内の登山道においてモニタリング調査報告書を作成し、環境への影響がないことを報告
- ・白山登山における安全対策について協議
- ・大会中に石川県内にマダニに対する注意喚起がされていたため、参加者及びスタッフに連絡

5. 所感

4日目の白山登山において、体調が悪くなった選手1名及び同行したスタッフ3名が日没しても室堂に到着できず、また台風の影響もあってビバークすることになり、関係者にご心配をおかけした。来年に向けて白山登山においてさらなる安全対策を行う所存である。

昨年の選手がスタッフとして参加したり、昨年のスタッフが選手として参加した。またゴール後のパーティーでは来年はスタッフで参加したいと語る選手や、選手として参加したいと語るスタッフがいた。選手とスタッフの交流により、アットホームな雰囲気が生まれて有益である。

選手に聴覚障害の方がいたが、参加者同士で助け合う姿が開会式から見られ、市役所から派遣されたサポートの方も感心されていた。聴覚障害ということによるトラブルはなかった。

また昨年同様に大会後には、SNSを使った選手間の交流が盛んであり、また他大会でも本大会Tシャツを着用している選手の姿が見られ、白山ジオトレイルが広められている。

参加者から日曜日にスタートして土曜日にゴールすると休みが取れると提案されたので、来年の大会スケジュールについて検討したい。

今後は、今大会の改善点を協議し、来年に活かしていく予定である。

お問い合わせ

白山ジオトレイル事務局

白山ジオトレイル実行委員長 赤坂剛史

住所：〒921-8811

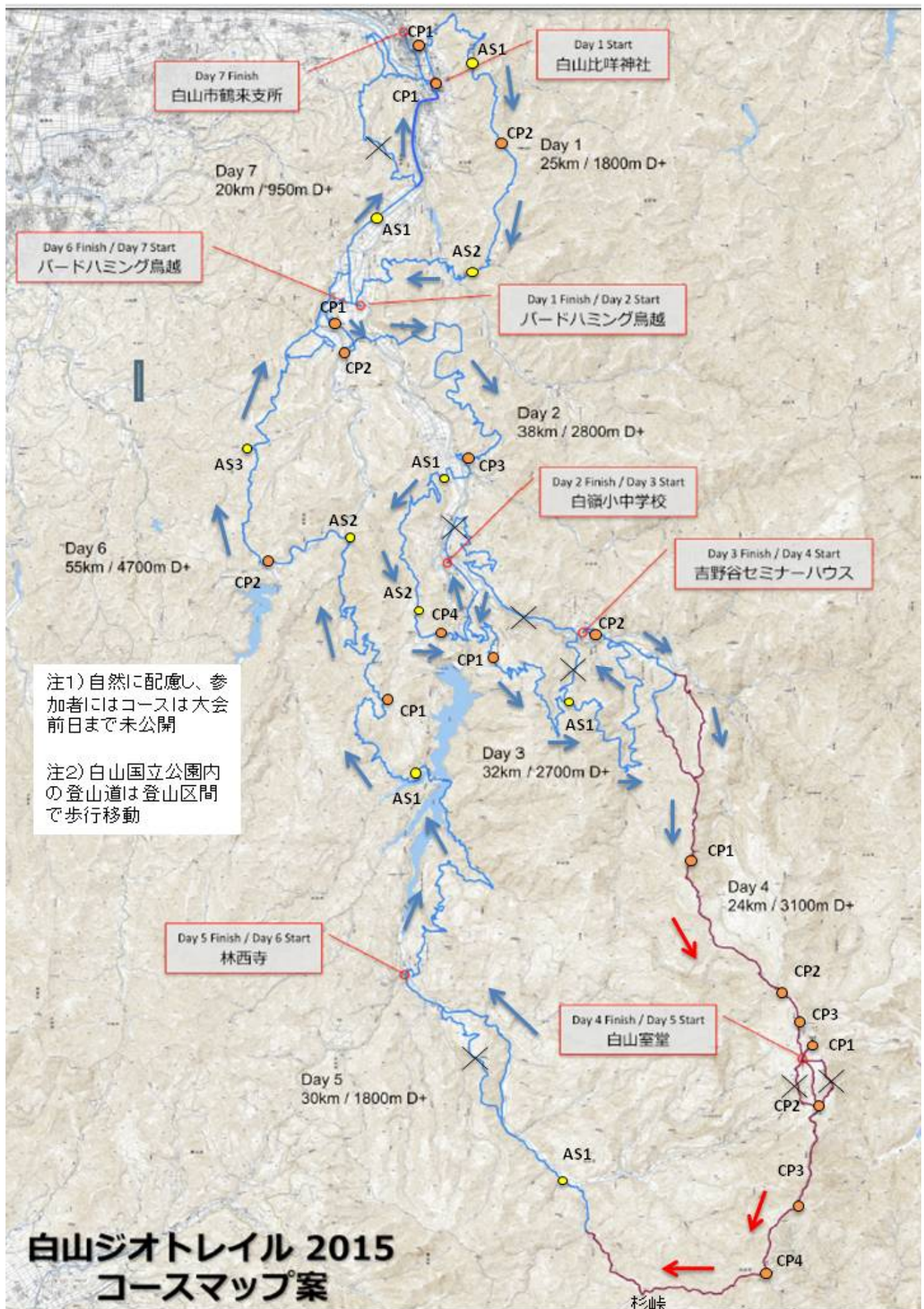
石川県野々市市高橋町3-48

カナディアンビレッジ高橋町A108

電話：090-2634-5989

メール：info@hakusangeotrail.com

資料1 白山ジオトレイル 全コース



資料 2. 取材メディア



北國新聞（2015年8月10日）

石川) 白山走破 22～28日にジオトレイル

福田純也 2015年8月20日 03時00分

シェア ツイート B! ブックマーク スラップ メール 印刷



2年前の大会で不動境を通過する参加者＝2013年9月14日、白山市

白山国立公園を舞台に山道を走破するトレイルランニング「第2回白山ジオトレイル」が22～28日に開催される。愛好者が増える中、環境省は今春、環境への悪影響や一般登山客との摩擦を避けるための指針を打ち出した。この大会でも「特別保護地区」では徒歩などの対策をとる。

大会実行委員長の赤坂剛史（たけし）さん（43）＝金沢工業大講師＝によると、白山市三宮町の白山比咩（しらやまびめ）神社を出発点に2コースを設定。前回より4人多い41人（男33人、女8人）が参加予定で、7日間の250キロコースに26人、3日間の100キロコースに15人が挑む。県内からは5人が参加する。

白山の山頂（標高2702メートル）を巡る250キロコースは参加費用が1万5800円だが、前回より9人増えた。過酷な条件の「極地 マラソン」の経験者もあり、バックパックに食料や着替えなど約15キロを背負い、テントで野営しながら体力の限界に挑戦する。白山市 が大会を後援する。

実行委は、環境省の指針を踏まえ、特別保護地区などの登山道では「タイム計測なし」「緊急時などを除き歩行」とした。選手が登山客を追い抜く際は道幅の広い場所を選んで声をかけるといったルールの徹底も図る。前日に発表するコースもなるべく登山客の少ないルートを選んだ。大会前と事後のコースの様子を写真で記録して比較できるようにする モニタリング も実施するという。

サハラ砂漠・南極大陸 での マラソン 大会の出場経験がある赤坂さんは「自然保護と登山客に十分に配慮した運営をしたい」と話す。

一方、NPO法人・白山の自然を考える会（石野洋理理事長、約200人）は、国立公園内の登山道をコースにしないよう指導することを 環境省 などに求めてきた。理事の高橋外男さん（66）は「実行委や選手の良心に期待したいが、高額の参加料で出場する極地ランナーが登山道を歩いて満足できるのか。山中では検証も難しいのではないかと指摘する。

環境省 白山 自然保護官 事務所（白山市 白峰）は、指針に基づいた措置をとっているか、大会期間中に現地で確認するという。（福田純也）

朝日新聞WEB（2015年8月20日）

トップ > 石川 > 8月23日の記事一覧 > 記事

石川

ツイート 4 B! 0 チェック おすすめ 2 G+ 0 2015年8月23日

自然堪能 7日間で250キロ 白山ジオトレイル26人スタート

白山麓の登山道など計二百五十キロを七日間で踏破する「白山ジオトレイル」が二十二日開幕し、選手二十六人が白山市三宮町の白山比咩神社を出発した。二十八日にゴールの市鶴来支所に到着する。（谷口大河）



一斉にスタートする白山ジオトレイルの選手＝白山市の白山比咩神社で

食料や寝袋を背負ってコースをたどり、夜間のキャンプを挟んで走り続ける競技で、今年が二年目。三日間の百キロ部門にも十四人が出場した。開会式では雨が降る中、赤坂剛史実行委員長（43）が「ともに助け合い、絆を強めて走ってほしい」と激励した。

昨年二位だった川崎市会社員高坂昌信さん（51）は「昨年は一位を争うのに必死で、白山の自然を十分に堪能できなかった。今年は余裕を持って満喫したい」と抱負を述べた。

コース設定をめぐっては、地元の自然保護団体が白山国立公園の特別保護区と第一種特別保護地域を除くよう要望してきた。環境省の指針もあり、実行委は園内の登山道約三十キロを徒歩で運行するよう選手に要請。区間内はタイム計測もしないという。

中日新聞WEB（2015年8月20日）



北國新聞夕刊（2015年8月22日）



北國新聞（2015年8月25日）



北陸中日新聞（2015年8月29日）

資料3 白山国立公園内における白山ジオトレイル規定

策定日：2015年6月24日

白山国立公園内における 白山ジオトレイル規定

白山ジオトレイル実行委員会

1. 基本方針

第2回白山ジオトレイルが白山国立公園を通過するにあたり、白山国立公園内の登山道ではタイム計測を行わず、歩いて進むこととし、環境省はじめ関係行政機関からご指導を頂いて「白山国立公園内における白山ジオトレイル規定」を策定する。

2. 実行委員会が配慮する事項

- ・ イベントの周知

本イベント開催日時、ルート、他の利用者への留意事項を公共の掲示スペースやウェブ等に告示し十分に周知する。

- ・ モニタリングの実施

モニタリング対象及び地点を抽出し、事前事後の写真撮影により影響を評価する。

3. その他の配慮事項

(1) 実行委員会の配慮事項

- ・ 参加者の人数を 60 名とする。
- ・ 参加者の試走を防ぐため、イベント前日までルートは原則非公開とする。
- ・ 参加者へスタート前日と白山国立公園内に入域する前日に参加者の遵守事項に関する説明を行い、周知させる。
- ・ 参加者のストックのゴムキャップは事前にチェックする。
- ・ 室堂に十分到着できる時間にスタートさせる。
- ・ 参加者の遵守事項に関して参加者同士でも注意喚起させる。
- ・ 参加者の遵守事項を破った参加者には警告・失格など厳格なペナルティを課す。
- ・ 応援者やマスコミ関係者に対しても参加者の遵守事項を徹底する。

(2) 参加者の遵守事項

- ・ 白山国立公園内の登山道は歩いて進み、特に湿原地帯、道幅が狭い箇所、脆弱な自然植生を有する登山道等ではゆっくり歩く（身の危険や救助などの場合を除く）。
- ・ 他の公園利用者への配慮を心がける。
- ・ 無理な追い越し、狭い道での横並び、登山道の角をショートカット等による登山道外への踏み込みを禁止する。
- ・ 追い越す場合は道幅がある箇所で驚かさないように声をかけて行う。
- ・ スtockはゴムキャップを装着する。

- ・ 特別保護地区内で動植物、菌類、岩石などの採取損傷等を禁止する。
- ・ 飲食後のゴミの投げ捨て等を禁止し、必ず持ち帰る。
- ・ ゼッケン等を使用し、参加者であることを分かるようにする。

(3) 応援者等の遵守事項

- ・ 参加者の遵守事項を遵守する。

4. タイム計測およびルート

- ・ 白山国立公園内の登山道では、タイム計測を行わない。林道および一般道では、通過順にタイム計測を行い、制限時間を設けない。
- ・ 1 日目に室堂に全員宿泊し、2 日目に下山する。
- ・ ルートは、指定ルートを設定せず、登山道の混雑を配慮した推奨ルートを設定する。

以上